

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	継続教育小委員会		主 査 名：五十嵐 健 就任年月：2003 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会		委員長名：西谷 章 主 査 名：
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業環境の変化の中で、継続教育の目指すべき方向について調査研究を行なう。</li> <li>・03 年度は継続教育の現状を把握し、04 年度にその結果を大会研究集会で報告。</li> <li>・04 年度は企業及び建築技術者の能力開発に関するアンケート調査を行なった。</li> <li>・05 年度は企業及び建築技術者の能力開発に関してヒアリングによる補足調査を行ない、就業環境の変化に伴う就業者及び企業の教育ニーズの纏めを行なう。</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有り 秋山恒夫 (高度能力開発促進センター)、五十嵐健 (九州国際大学)、井出尻直美 (高度能力開発促進センター)、加藤幸治 (加藤計画工房)、鈴木要 (読売東京理工専門学校)、西村直也 (芝浦工業大学)、平田京子 (日本女子大学)、栢田嘉生 (教育と情報の研究所)、柳川裕 (建築技術支援協会)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2005 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 「建築教育の需給構造と建築職能の将来像」特別研究委員会報告書 (4. 産業界動向調査の報告、資料編「産業界アンケート」調査結果を分担)
講習会	1. なし <span style="float: right;">参加者数 名</span>
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. なし <span style="float: right;">参加者数 名</span>
大会研究集会	1. なし <span style="float: right;">参加者数 名</span>
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 04 年度および本年度は、特別研究委員会「建築教育の需給構造と建築職能の将来像」と連携し、産業界の継続教育に関する動向調査を実施し (調査対象者 1100 名、改修率 43%) た。 2. さらに、本年度はその結果を分析し、産業界の能力開発ニーズに対する動向調査結果をまとめた。
委員会活動の問題点・課題	1. 05 年度に行った調査研究活動は、特別研究委員会「建築教育の需給構造と建築職能の将来像」と連携して行っているため、就業環境の変化に伴う就業者及び企業の教育ニーズの研究に止まっている。 2. 今後の課題としては、継続教育調査研究の最終年度として、03 年度～05 年度の調査研究の成果を、継続教育の充実に向けた視点で検討し、まとめを行なう必要がある。 3. さらに、その成果を学会委員及び社会に普及させるために、シンポジウム (06 年 11 月開催予定)、新聞発表などの活動を行なう必要がある。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。